

WISE 2017 サマープログラム

2017年9月2～3日

主催：Japan Institute for Social Innovation and Entrepreneurship (JSIE)

協力：Google Japan, Temple University Japan ICAS, 米日財団

後援：在日米国商工会議所, 日本医療政策機構

「情熱とアイデアをカタチに」

「このようなモノやサービスがあれば、コミュニティや世界はもっと良くなるはず」……。そのようなアイデアを持ってはいても、起業家精神が根付いていない日本においては、具現化するための一歩が踏み出せずにいることが多いのが実情です。

2017年は「情熱とアイデアをカタチに」をテーマに、国連が採択した持続可能な開発目標に関係する社会的課題について、起業家精神を用い、解決策を考えながらプロジェクトや事業計画にするためのサマープログラムを実施しました。このサマープログラムでは、国内外で活躍している社会起業家や実務家をメンターとしてお招きし、彼らの専門的な知識やアドバイスを織り交ぜながらチームとなって協働することで、「情熱」や「アイデア」をプロジェクトとしてカタチにするまでのプロセス体験を盛り込みました。

本サマープログラムの狙い

JSIEでは、リーダーシップを発揮しながらグループの中で協働する力、そして妥協ではなく成果をより良いものにするためにどうしたらいいか判断力・決断力を養うことを目的としています。限られた時間の中で考えをまとめたり、合意を形成したり、どういう役割を誰が担うのか、どういう基準で物事を判断するのか、自分たちで考えて決めていくことが求められます。これによって、困難な状況下や様々な問題に直面しても、最初に何をするのか次のステップは何か動きながら考え、そして試すということができるようになるための力をつけてほしいと考えます。

特にWISE 2017サマープログラムでは、以下の点に着目しました。

1. 何が問題か見極め、定義する力
2. 自分の考えを他者へ伝える力
3. 人を巻き込み、協調、交渉する力
4. 多様な価値観を受け入れ、柔軟に考える力
5. ベストな成果を引き出すためのリーダーシップ

Kickoffの様子

初日は、参加者の中からアイデアを持っている人が1分間のプレゼンテーションを行い、その日初めて出会った参加者の中から一緒に協働してくれる仲間を募り、最終的に1) 障害者が活躍できるしくみ、2) 食料の無駄をなくす、3) 人材資源の有効活用、4) エシカル衣料、5) 料理教室と女性の自立、という5つのアイデアが参加者の投票によって選ばれ5チームが結成されました。ここでは、限られた時間でいかに自分のプロジェクトについて魅力的かつ的確に伝えられるかがカギとなりました。ユニークなアイデアもある中で、参加者の関心を集めたテーマが採択されました。



グループワークの様子

5つのグループに分かれ、それぞれが取り組むSDGsの社会的課題を解決するアイデアに対して以下の点に考慮して、プロジェクトを組み立てる作業を行いました。それと同時に、社会的インパクトの基本的な考え方である5つのポイント、つまり、Input (投入する資源)、Output (それによって何を提供するのか)、そしてOutcome (それを実際に顧客が購入するのか)、そしてImpact (それによってどんな社会的インパクトが期待されるのか)といったことも念頭におきながら作業を進めました。

1. どのような社会的課題(SDGs)を解決するか。なぜ？
2. 何をするプロジェクトか。
3. 本当にニーズがあるのか。
4. 誰が顧客か。
5. どうやって実現(ファイナンス)するのか。
6. どういうインパクトがあるのか。



JSIEのファシリテータからはまず、“SDGs: You can make changes!”と題して、私たちが身近な社会的課題に取り組むことで、社会を変えていける、どのような社会インパクトが実現されているのか、それを体現している方たちの社会的起業の事例が示されました。また、議論の整理の仕方や、VisionとMissionの違い、資金調達の際に重要なこと、など講義がありました。さらに、自分たちのプロジェクトやアイデアがどれだけ良いものでも、それがうまく伝わらなければ資金や顧客を得ることが難しいため、ストーリーテリングを踏まえたピッチ(シリコンバレーでよく使われる用語で、主に資金を得るため投資家に対して効果的にプレゼンテーションすること)の活用について考えました。



メンターによるセッション

国際機関や途上国事業、社会的起業経験のあるメンターによるセッションとグループワークによって、参加者らはさらにアイデアを進化させ、残りわずかな時間も惜しみながら作業に集中して取り組みました。メンターには、アジア・アフリカを主なフィールドとして、無電化村で地産地消型の再生可能エネルギー、食糧生産およびICTを活用した金融サービスを行う日本植物燃料株式会社で多くのビジネスを手掛ける合田真氏、そしてインパクト投資の観点から起業支援を提供する一般財団法人KIBOWの小早川鈴加氏、世界銀行に長年勤め自身もコーチとして活躍している村井暁子氏、リクルートの元執行役員で自身の会社を立ち上げアジアの女性の手仕事作品を日本市場へつなぐ活動をしている、小安美和氏、そして世界銀行やダルバークなど途上国開発事業に多くかかわる経験をもつ小木曾麻里氏など、多彩な顔ぶれとなりました。



小木曾麻里氏



村井暁子氏



小早川鈴加氏



小安美和氏



合田真氏



最終プレゼンテーション

最終プレゼンテーションでは、当初のアイデアが2日間にわたって集中的に議論され練られた結果、どのチームも見違えるような企画発表となりました。



審査員の視点から投資したいと思うプロジェクト企画を考えたグループに、最優秀賞とアワードが贈られました。最優秀賞に輝いたのは、若者をターゲットにしたエシカルな商品を提供する新しい基準をつくるグループでした。国際色豊かなグループメンバーによる協働によって、ビジョンやミッション、具体的な商品のサンプル、Websiteも準備するなど実現性の高さやマーケティングの手法、そして新しいスタンダードを作るという独創性に高い評価がつけられました。



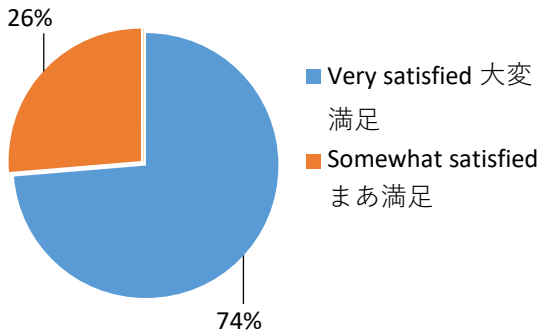
最優秀賞グループと各グループから次世代を担うリーダーが選出され、対象者の方たちには、JSIEが連携している米国のNGO・NPO団体へのインターンシップやWSLABのファウンダーハウス宿泊券など研修参加の権利が授与されました。

今回のプログラムでは、初めて出会った人たちとグループを作成し、同じ課題に向かって解決策を考えながら、自分たちで悩み何度も議論しながら、実現性の高い計画や戦略を練り、それを実際に行動に移すためにはどうすればいいかということを考えていただきました。何らかの刺激を得て、明日からの行動に活かしていただきたいと思います。

アンケート結果

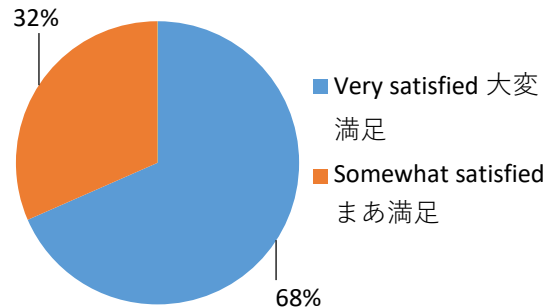
JSIEでは、サマープログラム終了後にアンケートを実施いたしました。以下の図表の通り、プログラム全体への満足度は高く、またファシリテータ、メンター陣への評価については高評価を頂き、全体的にポジティブな結果となりました。頂いたご意見やご感想も併せてご紹介します。

<プログラム全体の満足度>



- 今までビジネスプランを考案した経験はありましたが、SDGsをベースにしたことはほとんどなかったので、新しい視点でチャレンジすることができ、とても勉強になりました。
- 参加メンバーのモチベーションの高さとメンターの視点に最も刺激を受けました。
- JSIE went above and beyond to help me. I appreciate your hell with language. 本当にありがとうございました。
- 本当に充実した2日間で、チームメイトや皆さんからの学びが多かったです。運営の皆さんのさりげないサポートがとても温かくありがたかったです。ありがとうございました。
- 大変貴重な体験ができ、ありがとうございました。社会問題を深掘して考えることはあまりなかったので、意識の高い方のお考えを知って、意識を変えるきっかけになりました。
- 本当に、よいチームメンバーに恵まれました。役割バランスも絶妙だった！
- 勉強になりました。今回をキッカケに、思って来たことを表に出したり、情報を積極的にアップデートして行こうと思っています。

<ファシリテータの満足度>



- もっとも刺激を受けたのは、pitch を形にするプロセスです。メンターのかたの助言を受け、一日目でまとまりかけたものを白紙にするのは、よりよくするために必要なことと気づきました。
- 異なるバックグラウンドを持った人々がどのように問題を捉え、解決に結びつけていくのか、そのプロセスを体験できたことに刺激を受けました。
- ビジネスの最前線で活躍されている方の考え方や問題解決の仕方に触れられたことです。
- I was mostly inspired by other people's passion. Some of them really took actions on solving social issues and they didn't just treat the program as a mere 2 days event.

このように、日本をはじめ世界で活躍されているメンターと繋がるチャンスはそうありません。また、何よりも財産となるのは、新しいことと一緒に取り組む仲間ができることです。応援しあう仲間がいると、落ち込んだ時や悩んだ時、また前を向いて進んでいきます。皆さんとの時間やプロセスを共有することができたこと、またそういった機会を提供できたことに、主催者として大変嬉しく思います。

JSIEでは、皆様から寄せられた貴重なご意見やご感想を参考にしながら、今後の運営の改善にも努め、より良いプログラム作りを目指して参ります。

またの機会に皆様とご一緒できる日を、楽しみにお待ちしております！